

# 横浜市立義務教育学校 西金沢学園 平成31年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
世界を見つめ、共に生きる中で、自らの生きる力を創り出す力を育てます	心身ともにたくましく生きる力

### (2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>施設一体型義務教育学校における創造的な教育活動の実践・充実 ～きめ細やかな学びと豊かな成長を目指して～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設一体型義務教育学校としての教育課程の編成と教職員の連携・協同による教育実践を行います。</li> <li>地域や国際交流、外国語活動・英語教育の推進、SDGs（持続可能な開発目標）等特色ある教育活動に取り組みます。</li> <li>児童生徒の自己肯定感を高め、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して児童生徒の言語活動の充実に努めます。</li> <li>異年齢集団での教育活動全般を生かした思いやりの心の醸成、健やかでたくましい体の育成を図ります。</li> </ul>

### (3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
健やかな体	担当 体育部 保健体育科	① 授業での運動する楽しさ、心地よさを味わう活動を取り入れながら、進んで運動しようとする態度を育成する。
		② 自らの健康管理に気を付け、自己の課題を明確にするとともに、課題解決のために仲間と協力するなどの授業作りを心がける。
		③ 新体力テストの結果等を保護者と共有し、自己の体力を知り、体力の向上と生活習慣の改善を図る。

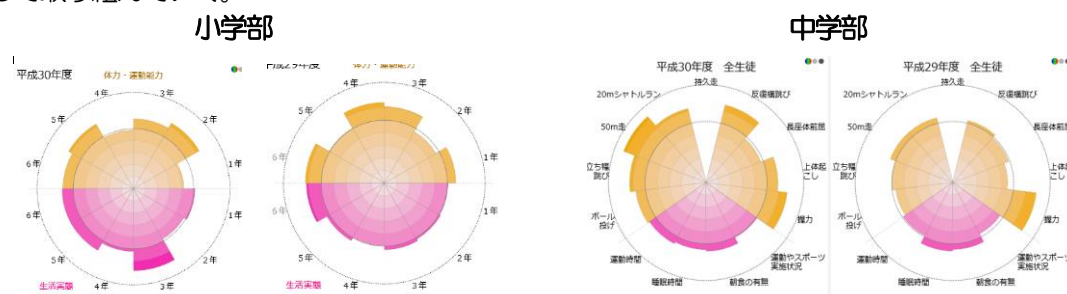
## 2 体育・健康に関する実態把握

### (1) 体育・健康に関する実態

- 市の平均に比べ、朝食の摂取率が高く、毎日食べている子どもがほとんどである。また、睡眠時間についても、市平均とほぼ同じである。
- 部活や地域のクラブチームに所属している生徒が多く、運動時間は、市の平均よりも上回る結果であった。
- 視力検査では、1.0 以下と判定された割合が中学部は約60%、小学部は低学年約8%、中学年約28.5%、高学年約38.5%である。課題は中学部において、眼科受診につながらないことが挙げられる。
- 家庭の健康に対する意識は高く、生活リズムの乱れによる体調不良が続くことは少ない。

### (2) 体力の概要と要因の分析（全校配布の体力・運動能力調査分析チャートを活用）

スポーツテストの結果を見ると、ほとんどの項目が市平均を上回っている。中でも、握力が全体的よりも高く、数値的に安定している。29年度に下回っていたボール投げについては、結果を踏まえ、1年間力を入れて授業前に取り組んできた。そうした結果が、向上した要因だと考えられる。柔軟性について、今後課題として取り組んでいく。



### 3 体育・健康に関する具体的取組

#### 教科

##### 《体育科・保健体育科の取組》

学び合い、認め合い活動を通して、主体的・対話的で深い学びを目指す。

- ・児童生徒が、自己の課題の解決に向けて、仲間と協力し合い、対話による深い学びを実践できるような場の設定や授業づくりを心がける。
- ・仲間とともに運動に親しみ、楽しさや喜びを味わうことのできる習慣を身に付けさせる。例として、学校行事などに関連させて単元を配置したり、保健の学習で日々の生活を振り返る場面を設定したりすることで、必要感をもって学習に取り組むことができるように工夫する。

##### 《他教科での取組》

心身の健康な生活を実践する態度を育む

- ・「調和のとれた食事」「適切な運動」「休養及び睡眠」バランスよく生活できる資質や能力の育成を目指す。(技術・家庭科との連携)

#### 特別活動・総合的な学習の時間

##### 《体育科・保健体育科の取組》

意欲的に活動するとともに、小中交流を生かして、健全な精神を育む。

- マラソン大会
- 保健指導
  - ・喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育
  - ・目、歯、健康的な体重の指導
  - ・9年生 心の保健指導
  - ・保健室での個人指導
  - ・すくすく学習
  - ・保健だよりの発行
- 食育（給食週間）
- 保健だより、学校だより
- 給食委員会の取組
- 安全教育
  - ・避難訓練
  - ・交通安全教室
- 休み時間の遊び
- 人権週間

#### 課外活動

- ・基本的な生活習慣の確立を目指し、食事・睡眠・休養及び睡眠を中心とした指導を行う。
- ・小学部児童の部活動への体験入部等を通しての運動部活動の活性化を目指す。
- ・体力テストの結果等を共有し、家庭と連携を図るために、個人面談等を利用して保護者と話し合う。

#### 平成31年度 義務教育学校西金沢学園 体力向上1校1実践運動

《名称》 にしかなっ子 健康アッププラン（児童会・委員会活動を中心とした児童・生徒主体の取組）

《ねらい》 他学年との交流、活動を通して、所属感や連帯感を高める。  
小学部・中学部と9年間を見通した指導を行うことにより、それぞれでの役割分担を考えた指導を心がける。  
児童・生徒が生涯を通じて、運動を日常生活の中に積極的に取り入れようとする態度を育成する。

《内容》 ・児童会・委員会活動の中で、生活習慣の見直しを図る。課題を取り上げ、課題解決に向けて、よりよい生活とはなにかを考える。  
・保健委員会 「食」をテーマにして今年度は取り組む。  
栄養バランス・朝ごはんや夜食との関わり・糖分と熱中症とのつながり

●指 標： ① 生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「睡眠時間」「メディアとの関わり」「運動時間」  
② 市学力・学習状況調査の意識調査と子どもの活動の状況との分析